

鹿妻のいんどりマルシェ
地震・津波等の災害準備

【地震の対応】

- 屋外(テント等)に避難する(このとき揺れが収まるまで待ち慌てず避難)
- 火の始末、直ちに消化及び発電機の停止
- 丈夫なテーブル、机などの下に隠れる
- ドアや窓などを開けて避難路の確保
- ガラスや看板など落ちてくるモノから、ジャンパーやカバン等で身を守る。
- 塀や電柱、垂れ下がった電線に近づかない事。
- 陳列棚やガラスケース等から遠ざかる事。
- テントから外に出る事
- 非常放送が行なわれている時は、注意して指示に従う事。
- 揺れが収まったら、火元の消化確認、ガスの元栓を閉め、電気製品のコンセントを抜く。
- 余震に注意して安全な場所に待避。
- 火災が起きたら消火に協力。(地震が収まってから)
- ラジオなど情報の収集に努める事。
- 状況によっては指定避難場所へ誘導避難。
- 児童・生徒・高齢者等の誘導・保護・帰宅支援を消防・警察に依頼して直ちに行なう事

【地震による待機・中止の判断基準】

- ◆安全が確認された場合(震度 4 強以下) *避難解除は警察・消防に確認。
- ※怪我人・病人の確認(状況に応じて 119 番通報する事)
- ※建物・テント・ステージ・看板・パネル等の安全確認を行なう。
- ※電気・ガス・火気の機器設備の停止の確認
- ※確認後、安全確認し各機器の再始動
- ※イベント参加中のボランティアスタッフは希望により自宅へ帰すこと。
- ※会場への参加途中、帰宅途中のボランティアスタッフの安全確認を行なうこと。
- ※消防・警察に地震・災害の発生状況の確認、報告をただちに行なうこと。
- ※上記事項の安全が確認された場合のみイベント再開。
実行委員長または、現場責任者へ確認
- ※改めて、消防・警察に開催の再開を確認・連絡する事。
- ※震度 5 強の場合は、原則イベントの中止

【津波発生の対応策】

◆津波発生の通報が出た場合

海岸から「より遠く」ではなく、速やかに「より高い場所」へ避難すること。周りにいる人に大声で呼びかけあいながら避難します。速やかに高所へ避難する事

◆状況確認{高所に避難後状況を確認}

①ラジオ・テレビ

②警察・消防(電話)

津波の到達時刻、避難解除等の確認を逐一行なうこと。

<避難介助>

避難解除・イベント再開は、警察及び消防等へ確認してから、指示を仰ぎ
避難解除・イベント再開を告知します。

津波は数時間後に発生する場合があります。

必ず確認します。

・会期・会場・イベント内容に合わせて検討し避難路等実際に現場を確認・訓練などをしましょう

・安全は確認され、交通網が遮断された場合、イベントを再開して帰宅できない人の居場所をつくる事も検討

